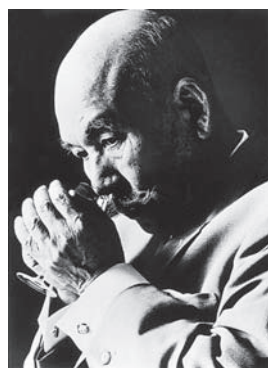


# 竹鶴政孝伝(1)



「取柄さえあれば、世の中の役に立つ」

「ここだ!!!自分の特徴は、これだ!」という取柄さえあれば、その取柄を活かして世の中の役に立つことができる。

これは、竹鶴政孝が、忠海中学校(現・忠海高等学校)の文集に残した言葉です。



政孝18歳の卒業写真(忠海中学校校友会編『同遊 第19号』から)

自分の取柄を活かして世の中の役に立つことを文集で誓った政孝は、後に、ニッカウヰスキーを設立し、生涯を国産のウイスキー造りに捧げたことにより、「日本のウイスキーの父」と呼ばれる人物に成長するのです。

9月29日から、竹鶴政孝と、政孝に寄り添い、国産ウイスキーの誕生を陰で支えたスコットランド出身の妻リタをモデルとしたNHK連続テレビ小説『マッサン』の放送がスタートします。

このモデルとなった郷土の偉人・竹鶴政孝を紹介していきます。

## ケガと自炊から

政孝は、明治27年(1894年)に、現在の町並み保存地区の竹鶴酒造で産声を上げました。

8歳の時、政孝は家の階段から転げ落ちて、鼻を強打し、失神するという大怪我を負い、それ以来、人並み外れた嗅覚が備わったといえます。まさに、「怪我の功名」。

また、上の写真でも紹介した忠海中学校への通学には、往復で4時間もかかりました。

そこで、1年生の2学期からは、現在の福田町に一軒家を借り、兄と自炊生活をしながら、通学しました。

兄弟が一日交代で炊事当番を務め、米8合と季節の野菜、海で魚をとって料理しました。政孝は、この自炊生活により、味覚が形成されたといえます。

## 日本酒造りから学ぶ

政孝の父は、竹鶴酒造の分家からさらに分家した「浜竹」の家を興しましたが、本家の当主が早世したため、本家で酒造りを行っていました。

「酒は、つくる人の心が移るもんじゃ」、「酒は、一度死んだ米を、また生き返らせてつくるのだ」という父の酒造りにかけるひたむきで厳しい姿勢。それは政孝のウイスキー造りに対する姿勢にも受け継がれています。

政孝は、他社が品質を落とした安価な三級ウイスキーを販売し、ニッカウヰスキーもそれに追いつけざるを得なくなったとき、品質を落としたウイスキーを世に送り出すことを泣いて悔しがったといえます。



政孝の生家・竹鶴酒造(町並み保存地区内)

政孝は酒造りに必要不可欠な、嗅覚・味覚・魂という大きな取柄を、幼少期を過ごした竹原で磨いたのです。

## 参考図書

『ひげと勲章』  
『ウイスキーと私』

## 問い合わせ

文化生涯学習室  
☎ 22-17757

## トピック1

### 竹鶴政孝と池田勇人

忠海中学校時代、柔道部の後輩だった池田勇人は、政孝の布団の上げ下ろしをしていたといえます。

池田勇人はこの頃の政孝の印象について、「竹刀を持って部屋を見まわりにくる、柔道の強かった寮長さんの竹鶴さんは、おそろしかったなあ」と話しています。

二人の友情は、中学校卒業後も続き、大臣になった池田勇人は、各国の代表を招いた総会の席で、ニッカウヰスキーを振る舞ったそうです。

竹原が生んだ二人の偉人。それぞれが歩んだ道は異なりますが、一人は、国産のウイスキー造りを成功させ、もう一人は、所得倍増計画を打ち出し、日本の高度成長を支えたことで、今日の日本発展の礎を築いたので。

## 「生誕120周年記念 竹鶴政孝展」開催中!

人生を本物のウイスキーづくりに捧げた情熱と信念の軌跡を紹介した展覧会を3回開催していきます。

第1回の日程は次のとおりです。

### 会期

6月23日(月)~7月21日(月)  
10時~17時

※定休日 7月16日(水)

場所 道の駅たけはら2階

### 問い合わせ

竹原市「マッサン」推進委員会事務局(竹原市観光協会)

☎ 22-4331

# 「藝術」, ですか? 歴史・町・広島竹原藝術祭

期間 7月30日～8月31日  
会場 町並み保存地区及び周辺



問い合わせ  
東京藝術大学生・大学院生による  
竹原芸術イベント実行委員会事務局  
(文化生涯学習室) ☎ 22-7757

江戸時代から続く町並みで、「藝術」, ですか? 歴史・町・広島竹原藝術祭を開催します。  
町並みの持つ「人を癒し、魅せ、可能性を引き出す特別な空間」に、東京藝術大学生が、藝術の真髄を追求した作品を展示します。  
作品は、木彫り・石彫り、日本画、漆芸・陶芸・染織等の技法で作られています。  
芸術作品に彩られた町並みと若手芸術家が作品に込めたメッセージを、お楽しみください。

## オープニング

### ○式典

7月30日(水) 9時～

酔景の小庭(森川邸前)

### ○コンサート

8月2日(土) 17時～18時

藤井酒造酒蔵交流館

※入場料無料

## 表彰制度

若手芸術家の登竜門となる本イベントでは、表彰制度があります。鑑賞者のみなさんの投票で決定する「赤煉瓦賞」、専門家審査員が選考する「青煉瓦賞」、竹原市長が選考する「市長賞」です。

## 投票期間

7月30日(水)～8月28日(木)

## 投票制度

投票権は、展示施設を回り、4つ以上のスタンプを集めて獲得できます。「赤煉瓦賞」に投票してください。

## 展示施設 (7/30～8/31)

会場	作家
○森川邸(無休)	全体展示
旧日の丸写真館(無休) (外の展示ケースのみ)	相子恭平・清水啓悟
○笠井邸(不定休)	酒井望・宮本靖子
○松阪邸(月休)	相子恭平・清水啓悟
上吉井邸(無休)	山岸千穂
竹楽2階(不定休)	中津川翔太・唐澤絵里
○歴史民俗資料館(火休)	今井完眞・森ナナ
修景広場(無休)	布下翔暮
頼惟清旧宅(無休)	今井完眞・森ナナ
○光本邸(金休)	池田浩樹

## ※開場時間

9時～17時 (旧笠井邸と竹楽は10時～16時)

## ※有料施設(大字は有料)は、通常

の金額です。有料4施設の周遊券は、○のついている施設と「道の駅たけはら」で販売しています。

## ワークショップ

作家の世界観を体感できるワークショップを開催します。定員に限りがありますので、ホームページ(<http://www.geijutsu-deska.com>)または電話でお早めにお申し込みください。  
※参加費無料

## 小学生との創作交流

東京藝術大学生5人が小学生の表現力を引き出し、藝術の楽しさを体感してもらおう創作交流を行いました。  
写真の創作交流では、竹の白うちわにストローで絵の具を吹いたり、模様をつけたりしました。

参加した大学生により、創作交流の内容は違いますが、どの創作交流でも、児童は、図工の時間とは違い、うまく描くのではなく、感じたままに作品を創り上げていく楽しさを堪能しました。

小さな芸術家が創作した作品は、イベント期間中に「道の駅たけはら」に展示されます。



※1 幼児～小学生3年生対象  
※2 子ども対象(大人可)



関連イベント

ぶらり町並み版画展

「高棟 莞也」

会期

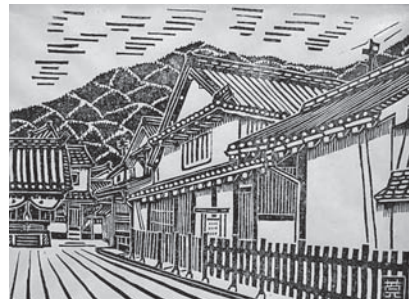
7月30日(水)～8月31日(日)

※期間中無休

場所

町並み保存センター

入場料 無料



▲高棟 莞也 作

たけはら美術館 (☎22-3558)

所蔵品展

「郷土が誇る芸術家」表現者を育む」

所蔵品の中から郷土ゆかりの作家の作品を紹介します。

会期

6月27日(金)～8月31日(日)

開館時間

9時～17時

(入館は16時30分まで)

休館日 月曜日

※祝休日の場合は翌日休館

入館料

19歳以上 200円 (160円)、

18歳以下・70歳以上 無料

※( )内は20名以上の

団体料金

作家からのメッセージ

このイベントは、もともと「藝大生が竹原の町で作品展示をしたら、おもしろそう!」という、とてもシンプルなアイデアから始まりました。出展者は「竹原で自分たちに何ができるか、何をすればおもしろくなるか。」を真剣に考え、竹原を訪れたときに受けた町の印象や独特の雰囲気大切に1年間制作に励んできました。

各々扱っている素材や技法、また作風もまるで違いますが竹原を常に意識しながら制作したという点は共通しています。作者それぞれにとっての【竹原】が「町」と「芸術」へとつながっているを感じ取っていただければ幸いです。

忠海地区小中一貫校(忠海学園)の校舎の新築工事が始まります。



▲忠海学園完成イメージ

平成26年7月から忠海地区小中一貫校(忠海学園)の校舎の新築工事が始まります。(旧校舎の解体工事は先月から行っています。)

工期は、平成27年7月31日までを予定しています。

周辺のみなさまにはご不便をお掛けしますが、ご協力をよろしくお願いします。

問い合わせ

教育振興課教育企画係

☎22-2329

祝全国大会出場(敬称略・順不同)

市では、県大会規模の予選会を経て全国大会に出場する人に助成金交付制度を設けています。

問い合わせ

文化生涯学習室 ☎22-7757

第31回全日本武術太極拳選手権大会

(7月4日～6日 東京都)

向井 恭子

第15回松涛連盟全国空手道選手権大会

(7月26日～27日 静岡県)

出口 善久、田中 孝穂、金森 保尚、

出口 愛恵(竹原錬心館)

平成26年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会

【男子円盤投げ】(7月30日～8月3日 山梨県)

荒谷 達也(如水館高等学校)

平成26年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会(7月31日～8月2日 千葉県)

齊本 直樹(尾道高等学校)

平成26年度全国高等学校総合体育大会剣道大会

(8月2日～4日 神奈川県)

鳥本 悠介(沼田高等学校)

松田 隆聖(広島皆実高等学校)

全日本女子軟式野球選手権大会

(8月9日～11日 東京都)

岡本 芹奈(広島レディース)

激励会を開催

7月24日(木)、市民館で、夏の全国大会出場者の激励会を行います。激励会は毎年2回、夏の全国大会前と国民体育大会前に行っています。